

第 12 回教育委員会会議

令和 7 年 9 月 26 日
午 後 3 時 00 分
インクルーシブ教育推進室研修室2

案 件

議案第63号

国際バカロレア教育について

国際バカロレア教育について

指導部 初等中学校教育担当
英語イノベーショングループ

国際バカロレア教育の導入について

○ 国際バカロレア(IB) 概略

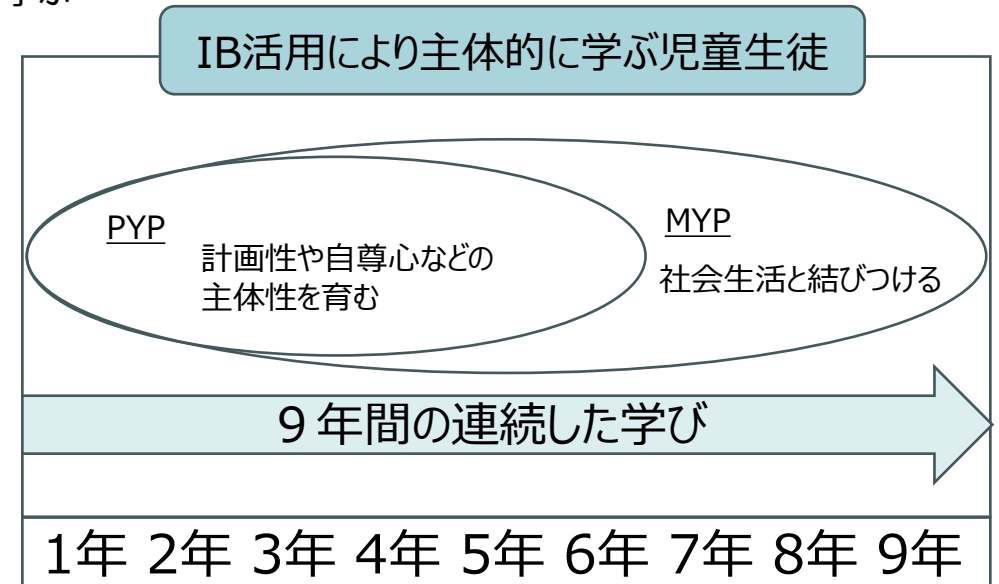
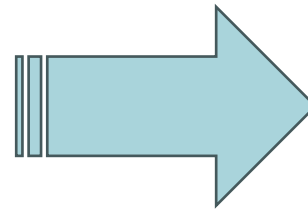
- ・本部：スイス(アジア圏内の学校については、シンガポールオフィスが統括→SGD支払い)
- ・世界のどのような場所や文化圏においても受講可能な教育として考案される
- ・各学習分野を関連づけ、その関係性を探究するなど、探究、行動、振り返りのサイクルを通して学ぶ

○ 国際バカロレア教育のプログラム及びその違い

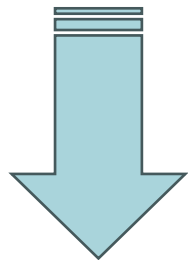
小学校課程：PYP
中学校課程：MYP
(高等学校課程：DP)

※高等学校相当のキャリア教育：CP

課程	指導言語	学習指導要領	資格
PYP	日本語	範囲内	なし
MYP			
DP	英語	範囲外含む	大学入学資格



○ 導入経過



- ・令和6年12月教育委員会会議(第14号:協議題)にて、国際バカロレア教育の導入を協議
- ・令和7年2月教育委員会会議(第5号:協議題)にて、導入候補校を協議
- ・令和7年6月教育委員会会議(第19号:報告)にて、進捗状況を報告
- ・令和7年9月教育委員会会議(第63号:議案)にて、導入候補校にて候補校申請の実施を諮る



国際バカロレア教育の導入について

○ 認定までの流れ

IBO:国際バカロレア機構

関心校

費用なし

国際バカロレアの情報収集やIBO関連者とのネットワーク構築

- ・申請事務及び書類：英訳した学校設置条例や校内組織情報等の作成
- ・教員研修：PYP・MYPそれぞれIBO主催の管理職研修受講※1が必要
 - 4月25－27日：PYPオンライン研修受講済(参加者：校長・小学校教頭・事務局)
 - 8月 8－10日：MYP埼玉県にて対面研修受講済(参加者：校長・事務局)

R7 9月現在

審査

候補校

費用あり

- ・担当コンサルタント(IBO)との相談(オンライン相談や認定に向けてのアドバイス等)
- ・当該校における国際バカロレアを組込んだ教育課程の編成及び授業実践開始

審査

- ・IBOからの訪問審査(体制整備、学びのスタイル、地域や保護者理解等の実地審査)
- ・申請事務及び書類：翻訳した条例、校内組織情報等の更新
- ・教員研修
 - PYP：全職員研修、コーディネーター研修、管理職研修(※1)
 - MYP：全職員研修、コーディネーター研修、管理職研修(※1)、8教科それぞれの専門研修

認定校

費用あり

- ・当該校における国際バカロレアを組込んだ教育課程の編成及びプログラム活用の授業実践継続
- ・5年後のIBO担当者による実地監査
- ・人事異動毎に各プログラムの認定に必要な教員研修実施

【PYP:全体研修、管理職研修、コーディネーター研修】、【MYP：全体研修、管理職研修、コーディネーター研修、8教科の専門研修】

国際バカロレア教育の導入について

○ 他都市の状況

- ・国内の国際バカロレア認定校等数:251校 (令和7年3月31日時点)
- ・PYP認定校76校・MYP認定校41校 (DP認定校73校・CP認定校1校)
- ・国公立校→PYP2校、MYP9校 (DP:15校・CP:0校)

※公立候補校の現状：香川県三豊市(小1校・中1校)、岡山県備前市(全小・中)、北海道鹿追町(中2校)が候補校として認定されている

PYP実施 120校【R6より+11】候補含む
(1条校:20校)

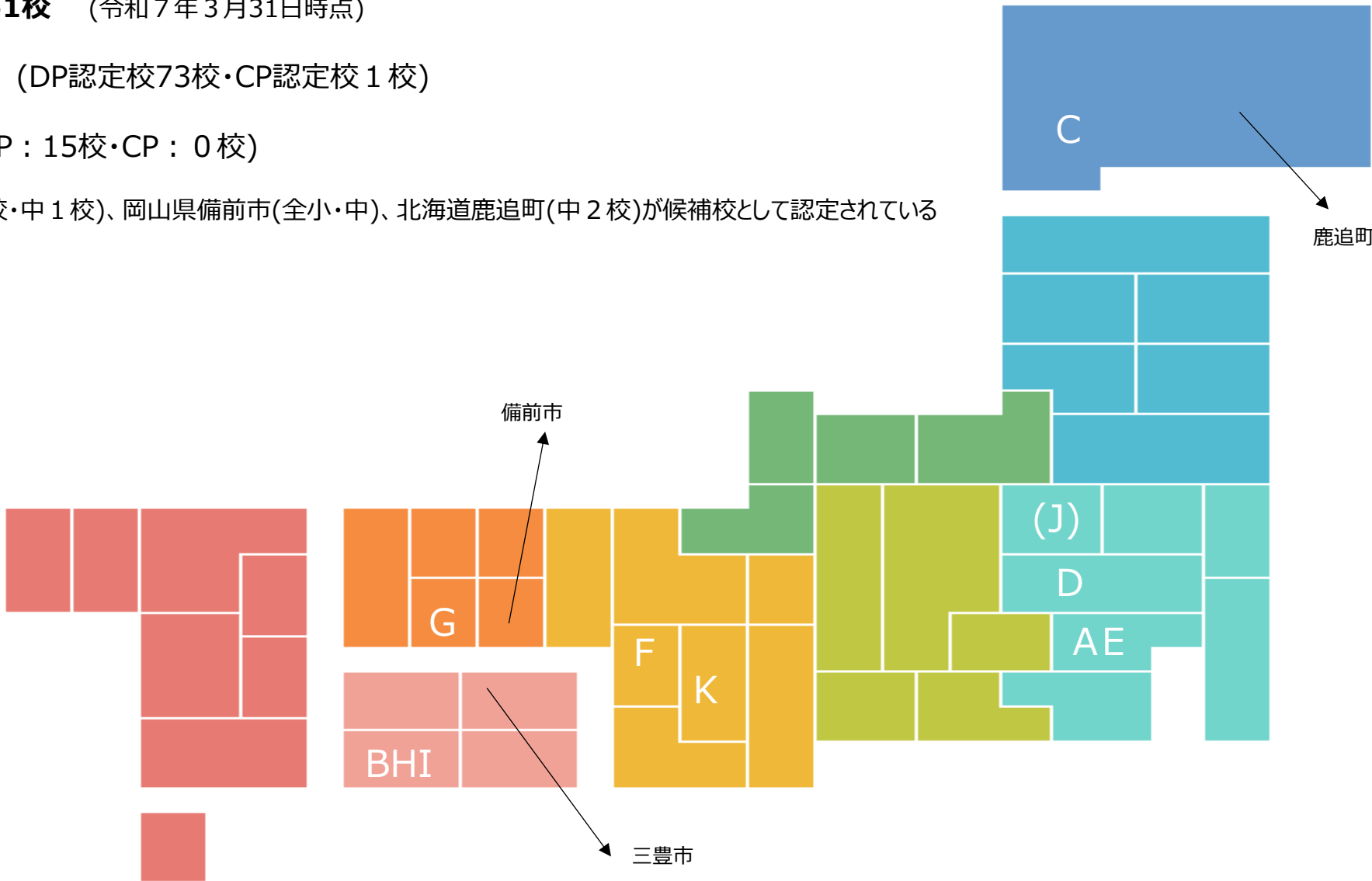
- A:東京学芸大学附属大泉小学校
- B:香美市立大宮小学校

MYP実施 59校【R6より+4】候補含む
(1条校:22校)

- C:市立札幌開成中等教育学校
- D:さいたま市立大宮国際中等教育学校
- E:東京学芸大学附属国際中等教育学校
- F:大阪教育大学附属池田中学校
- G:広島県立広島叡智学園中学校
- H:香美市立香北中学校
- I:高知県立高知国際中学校
- J:(特区:ぐんま国際アカデミー中等部)
- K:奈良県立国際中学校

(参考)

DP 80校 候補含む(1条校:47校)
大阪府立水都国際高等学校 等



国際バカロレア教育の導入について

○導入校について

- ・小中一貫校 むくのき学園(大阪市立啓発小学校・大阪市立中島中学校)

【Mukunoki Gakuen, an integrated elementary and junior high school】

IBO登録通称

Mukunoki Gakuen Elementary and Junior High School

※IBOへの申請(審査)後、認定を得る必要がある

当該校について：伝統と地域に密着した長い歴史を持つ学校である大阪市立啓発小学校及び大阪市立中島中学校は、2014年に「小中一貫校 むくのき学園」として開校。現在は、ICTや生成AI等の積極的な活用によって、新しい知識を広げる機会を提供するなど、多様な教育的ニーズを満たしている。加えて、施設一体型小中一貫校であることより、地域の子どもだけでなく、大阪市全域からも通学することができる環境であり、地域社会との深い連携より、文化的イベントやボランティア活動等を通じて、児童生徒が地域に貢献する精神を育んでいる。



児童生徒数/学級数：399人(小学校：259人・中学校：140人) / 総学級数：23学級(小学校15学級・中学校8学級) ※令和7年8月現在

<見込む効果>

- ・社会がグローバル化する中で、ちがいを認め合える国際的視野
- ・学び続ける教員と子ども
- ・教育の質の向上

※探究・協働学習を通じて、児童生徒が主体的に学ぶ姿勢を身に付け、問題解決能力やコミュニケーションスキルが強化され、世界中の多様な文化背景を持つ他者を理解し、尊重することで、より豊かで包括的な9年間の連続性を活かした学習環境が学校全体に広がると考える。

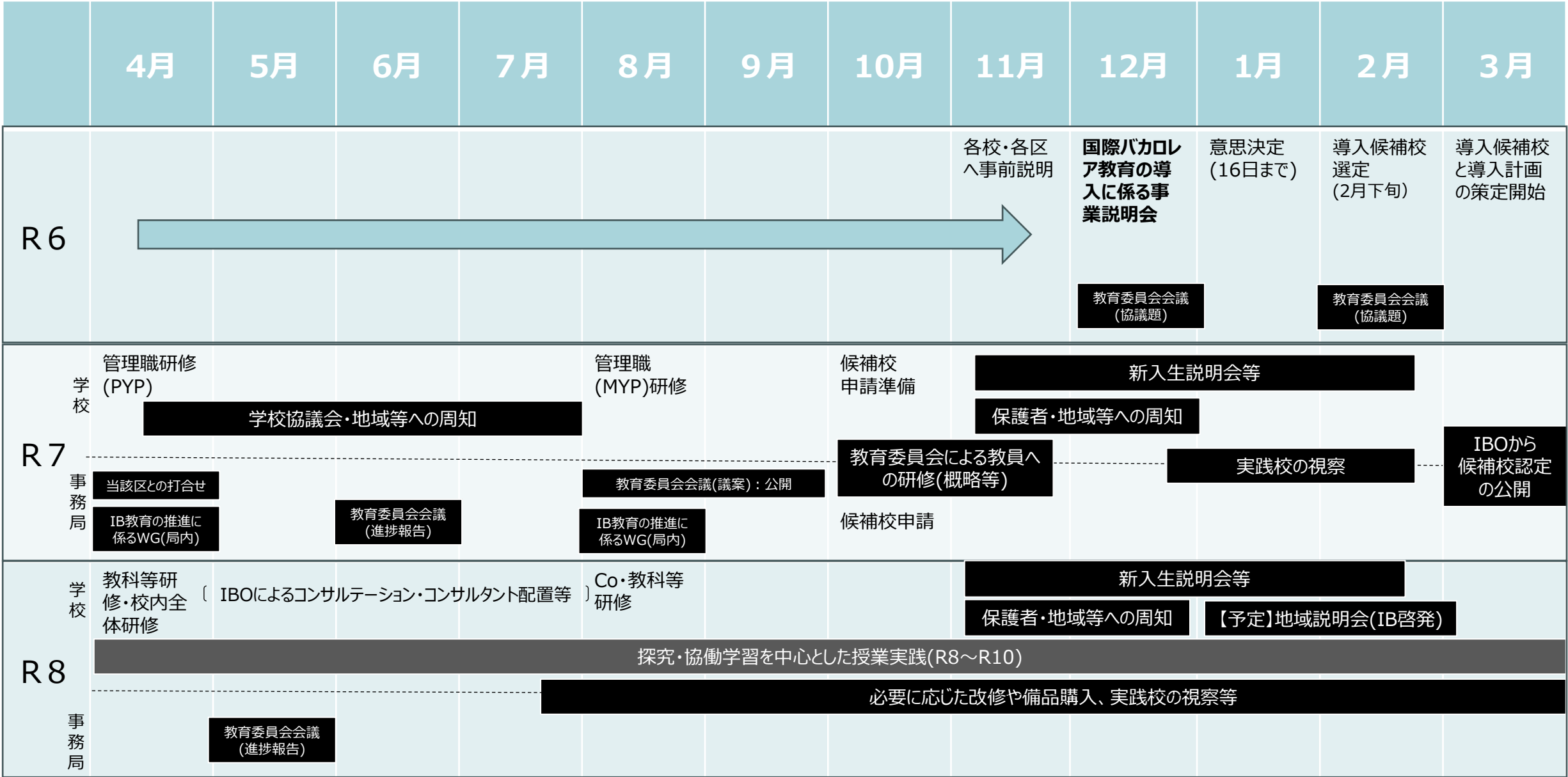
<学校や地域の受け止め>

校内：今まで培ってきた伝統や取組を整理し、IBプログラムを導入することで、より淘汰され、今後の社会を生き抜く力を養い、本市におけるグローバル人材育成の先駆校として本校の教育活動を更に躍進させ、継続していく。

地域：学校の選択を支持する。引き続き、時代に即しつつも、これまでの取組や伝統を重んじる学校を継続して行って欲しい。

事務局と学校の動き(R6～R8) (予定)

※導入校と相談のうえ計画は再考します。
※候補校等にならないと開示されない情報等があるため、現在の予定案になります。



事務局と学校の動き(R9～R11) (予定)

※導入校と相談のうえ計画は再考します。
※候補校等にならないと開示されない情報等があるため、現在の予定案になります。

